中2 歴史 近世 穴うめ（20問）　版Bの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 武士と農民の身分の区別がはっきりしたことを（　　）という	兵農分離
(2) ポルトガル人によって鉄砲が伝わったのは鹿児島県の（　　）だ	種子島
(3) 市の税を免除し、座の特権をなくした政策を（　　）という	楽市・楽座 （楽市楽座・楽市令 でも正解）
(4) ルターらがカトリック教会を批判して始めた運動を（　　）という	宗教改革
(5)（　　）の船隊が初めて世界一周をなしとげた	マゼラン
(6) 5戸ずつまとめて連帯で責任を負わせたしくみが（　　）だ	五人組
(7) 島原・天草一揆が起きたのは（　　）である	1637年
(8) 大名が1年おきに江戸と領地を行き来する制度を（　　）という	参勤交代
(9) 東南アジア各地に日本人が移り住んでできた町を（　　）という	日本町 （日本人町 でも正解）
(10) 株仲間をすすめ、商業の力を利用した老中は（　　）である	田沼意次
(11) 都市の人々が米を買い占めた商人の家をおそうのが（　　）だ	打ちこわし （打毀し でも正解）
(12) 民衆の意見を聞くため評定所の前に置いた箱を（　　）という	目安箱
(13) 1825年に外国船を打ち払うよう命じたのが（　　）である	異国船打払令 （外国船打払令・無二念打払令 でも正解）
(14) 生類憐みの令を出した5代将軍は（　　）である	徳川綱吉
(15) 18世紀の終わりに寛政の改革を行った老中は（　　）だ	松平定信
(16) 働き手を作業場に集めて分業で製品をつくるのが（　　）だ	工場制手工業 （マニュファクチュア でも正解）
(17) 藩が武士の子弟を教育するためにつくった学校を（　　）という	藩校 （藩学 でも正解）
(18)『東海道五十三次』をえがいた浮世絵師は（　　）である	歌川広重
(19) オランダ語を通じてヨーロッパの学問を学ぶことを（　　）という	蘭学
(20)『古事記伝』を書いて国学を大成したのは（　　）である	本居宣長